

平成31年2月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成30年12月27日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所

東

コード番号 8166

URL https://online.taka-q.jp

平成30年12月27日

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

四半期報告書提出予定日

(氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 無

四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の業績(平成30年3月1日~平成30年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	18,384	5.2	627		461		458	
30年2月期第3四半期	19,403	9.2	69		115	72.2	79	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
31年2月期第3四半期	18.83	
30年2月期第3四半期	3.24	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	14,198	7,042	49.6	289.05
30年2月期	12,993	7,462	57.4	306.24

(参考)自己資本

31年2月期第3四半期 7.042百万円 30年2月期 7.462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭				
30年2月期		0.00		3.00	3.00				
31年2月期		0.00							
31年2月期(予想)				0.00	0.00				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年 2月期の業績予想(平成30年 3月 1日~平成31年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	24,900	4.7	750		500		550		22.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 31年2月期3Q 24,470,822 株 30年2月期 24,470,822 株 期末自己株式数 31年2月期3Q 104,908 株 30年2月期 104,425 株 期中平均株式数(四半期累計) 31年2月期3Q 24,366,142 株 30年2月期3Q 24,366,484 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

(株)タカキュー(8166) 平成31年2月期第3四半期決算短信(非連結)

○添付資料の目次

1.	当[四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)) 財政状態に関する説明	2
	(3)) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四3	半期財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期貸借対照表	3
	(2)	四半期損益計算書	5
		第3四半期累計期間 ·····	5
	(3)) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
		(継続企業の前提に関する注記)	6
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3.	補	足情報	6
R	5日5	引売上高 ······	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調が続いておりますが、 米中の貿易摩擦やユーロ圏及び中国の景気減速等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、Eコマース分野は好調に推移しているものの、ショッピングセンターを中心とした小売業態において、消費マインドの復調の足取りは鈍く、依然として厳しい環境が続いております。

このような経営環境のなか当社は、中期経営計画の2年目において、「"KAIZEN"し発展させ適応していく」を行動方針とし、様々な施策に取組みました。

営業面では、「日本一お客様に喜ばれる販売員」を目指し、商品知識習得のための動画教育プログラム「商品大學」に加えて、接客技術を高めるための「人財大學」を全店舗に定期配信することで、現場教育体制の充実を図っております。また、Eコマース分野の更なる成長に向けて、自社オンラインショップと従来のコーポレートサイトを統合・刷新し、集客力の強化を図るとともに、モバイルアプリ会員の拡大に注力し、商品情報やセールの案内、クーポンの配布等を行うことにより来店の促進、ECサイトへの送客を推進しました。

商品面では、「日本一お客様に喜ばれる商品」を目指し、軽くてしなやかな清涼素材「TRABEST」を採用し、ウォッシャブルや360°ストレッチ等の機能を有したアクティブスーツ、ジャケット、スラックスを企画販売する等、機能性や利便性を付加した商品開発に注力しました。さらにオーダースーツは、当社の特徴である最短一週間の生産体制を維持しつつ、販売拡大、調達コストの低減に向け、国内に加え中国での生産も始めました。また秋冬商品より新たな展開として、パリコレデザイナーである田山淳朗氏と当社のプライベートブランド「エム・エフ・エディトリアル」がメンズビジネスアイテムでコラボレーションし、生地や仕立て、細部までこだわった、高付加価値商品の販売を開始しました。

しかしながら、消費環境の変化に加え、第1、第2四半期会計期間は異常気象や自然災害等が影響して春夏商品全般が苦戦、第3四半期会計期間においても気温が高めに推移したことで防寒衣料の売れ行きが鈍かったこと等により、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は7.4%減となりました。

店舗面では、新たな成長戦略の一環として、従来は独立店舗型であったビッグサイズ紳士衣料「グランバック」をショッピングセンターに1店舗出店したほか、主力業態のタカキューを5店舗、ウィルクス・バシュフォードを1店舗、計7店舗出店し、低効率等によりタカキューを3店舗、セマンティック・デザイン、エム・エフ・エディトリアル、シャツ・コード、アラウンド・ザ・シューズをそれぞれ1店舗退店した結果、当第3四半期会計期間末では前年同期比1店舗減の311店舗となりました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は183億8千4百万円(前年同期比5.2%減)となりました。利益面では、販売費及び一般管理費は前年同期比微減であったものの、営業損益は6億2千7百万円の損失(前年同期は営業損失6千9百万円)、経常損益は4億6千1百万円の損失(同経常利益1億1千5百万円)、四半期純損益は4億5千8百万円の損失(同四半期純損失7千9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して12億5百万円増加し、141億9千8百万円となりました。主な要因は、流動 資産で売掛金が7億7千2百万円、商品が8億4千2百万円、繰延税金資産が1億7千万円、投資その他の資産で 関係会社株式が1億6千2百万円それぞれ増加したことと、流動資産で現金及び預金が5億7千万円、固定資産で 無形固定資産が4千3百万円、投資その他の資産で繰延税金資産が5千7百万円それぞれ減少したこと等によるも のであります。

負債の部は、前事業年度末に対して16億2千4百万円増加し、71億5千5百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が16億6千9百万円、その他の未払金が2億3千1百万円それぞれ増加したことと、流動負債で賞与引当金が9千1百万円、未払法人税等が1億4千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して4億1 千9 百万円減少し、70億4 千2 百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が5億3 千1 百万円減少したことと、その他有価証券評価差額が1億1 千2 百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期通期の業績及び配当予想につきましては、平成30年10月3日に公表した業績予想及び平成30年4月6日に公表した配当予想から変更いたしております。詳細は、本日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(単位・1円/
	前事業年度 (平成30年 2 月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 226, 593	656, 458
売掛金	1, 333, 925	2, 106, 783
商品	4, 265, 537	5, 108, 315
貯蔵品	71, 582	79, 237
繰延税金資産	103, 387	274, 047
その他	296, 170	272, 061
流動資産合計	7, 297, 196	8, 496, 903
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	633, 000	681, 191
器具及び備品(純額)	416, 019	365, 483
その他 (純額)	17, 625	0
有形固定資産合計	1, 066, 644	1, 046, 675
無形固定資産	262, 147	218, 612
投資その他の資産		
関係会社株式	341, 276	503, 965
賃貸不動産(純額)	77, 785	76, 126
差入保証金	164, 988	155, 961
敷金	3, 619, 545	3, 610, 812
繰延税金資産	85, 834	28, 428
その他	77,835	61, 243
投資その他の資産合計	4, 367, 266	4, 436, 538
固定資産合計	5, 696, 058	5, 701, 826
資産合計	12, 993, 254	14, 198, 730

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 133, 948	918, 592
電子記録債務	1, 923, 502	3, 808, 090
未払法人税等	206, 764	59, 450
賞与引当金	185, 842	94, 711
店舗閉鎖損失引当金	1, 314	4, 337
その他	922, 516	1, 122, 893
流動負債合計	4, 373, 889	6, 008, 074
固定負債		
資産除去債務	1, 037, 865	1, 037, 548
その他	119, 457	110, 174
固定負債合計	1, 157, 323	1, 147, 722
負債合計	5, 531, 212	7, 155, 797
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568, 485	568, 485
利益剰余金	4, 794, 372	4, 262, 490
自己株式	△26, 298	△26, 399
株主資本合計	7, 336, 559	6, 804, 576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125, 482	238, 356
評価・換算差額等合計	125, 482	238, 356
純資産合計	7, 462, 041	7, 042, 932
負債純資産合計	12, 993, 254	14, 198, 730

(2)四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
売上高	19, 403, 429	18, 384, 987
売上原価	7, 848, 458	7, 463, 726
売上総利益	11, 554, 971	10, 921, 260
販売費及び一般管理費	11, 624, 037	11, 548, 282
営業損失(△)	△69, 065	△627, 022
営業外収益		
不動産賃貸料	228, 528	235, 022
手数料収入	77, 583	74, 847
その他	47, 604	31, 583
営業外収益合計	353, 715	341, 452
営業外費用		
不動産賃貸費用	153, 469	152, 948
その他	15, 717	23, 133
営業外費用合計	169, 186	176, 082
経常利益又は経常損失 (△)	115, 463	△461, 651
特別損失		
減損損失	70, 556	69, 791
特別損失合計	70, 556	69, 791
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	44, 907	△531, 442
法人税、住民税及び事業税	136, 606	90, 409
法人税等調整額	△12, 691	△163, 068
法人税等合計	123, 914	△72, 659
四半期純損失(△)	△79, 007	△458, 782

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

3. 補足情報

商品別売上高

	(自 平成29	期累計期間)年3月1日)年11月30日)	(自 平成30	期累計期間)年3月1日)年11月30日)	前事業年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)		
	金額 (千円)	構成比(%)	金額 (千円)	構成比(%)	金額 (千円)	構成比(%)	
重衣料	7, 827, 513	40. 3	7, 622, 718	41.5	10, 610, 590	40. 6	
中衣料	1, 152, 626	5. 9	951, 131	5. 2	2, 036, 105	7. 8	
軽衣料	9, 751, 716	50. 3	9, 108, 592	49. 5	12, 435, 508	47. 6	
その他衣料等	671, 573	3. 5	702, 544	3.8	1, 052, 295	4. 0	
合計	19, 403, 429	100.0	18, 384, 987	100.0	26, 134, 500	100. 0	

- (注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の 修理・加工に伴う収入等であります。
 - 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。